

ピロキロン粒剤の穂いもちに対する防除効果の持続期間

福島県農業総合センター 生産環境部
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

水稻 - 水稻 - 病害虫防除
分類コード 01-01-23000000

2 担当者

山田真孝・皆川博孝

3 要旨

ピロキロン粒剤(コラトップ粒剤)の穂いもち防除効果は、散布後3週間程度持続すると考えられた。

- (1) ピロキロン 粒剤の葉いもちに対する防除効果は、施用後1～3日で認められた。
- (2) ピロキロン 粒剤の穂いもちに対する防除効果は、施用後2～3週間は高かった。
- (3) しかし、散布してから4週間経過すると、防除効果は認められるもののその効果は低かった。

4 その他の資料等

なし